

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	地域特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	牧原 新子	実務経験と その関連資格	介護教員 看護師 病院・介護福祉施設にて介護職員への指導看護師実務経験15年			
《授業科目における学習内容》						
対人援助職としてのコミュニケーション能力を向上させ、学外実習や就職時に役立てる。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート90% 出席・態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
障がい者スポーツ指導教本初級・中級 公財日本障がいスポーツ協会						
《授業外における学習方法》						
自分の地域で活動しているボランティアに関心を持つ						
《履修に当たっての留意点》						
前期:障害とスポーツを学ぶ 後期;地域にある施設でのボランティア活動						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	ボランティアの魅力・心得と注意点を理解できるようになる			
		各コマに おける 授業予定	ボランティアについて ボランティア論			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	地域の活動を知ることができる。			
		各コマに おける 授業予定	地域活動、学校の取り組み			
第 3 回	講 義 実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	癒しとボランティア 癒し方を身につけることができる。			
		各コマに おける 授業予定	ボランティアについて 癒しについて			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	介護現場での必要性を理解することができる。			
		各コマに おける 授業予定	レクリエーションについて			
第 5 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	企画することができる。			
		各コマに おける 授業予定	レクリエーションについて			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設ボランティア体験		
		各コマにおける授業予定	施設ボランティア		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設ボランティア体験		
		各コマにおける授業予定	施設ボランティアについて		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	施設ボランティア体験の振り返りをする。		
		各コマにおける授業予定	振り返り レポート作成		
第9回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	癒し体験ができる。		
		各コマにおける授業予定	癒しのハンド		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	施設ボランティア体験について		
		各コマにおける授業予定	施設ボランティア		
第11回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	施設ボランティア体験		
		各コマにおける授業予定	施設ボランティア		
第12回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	施設ボランティア体験		
		各コマにおける授業予定	施設ボランティア		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	障がいのある人がスポーツやレクリエーションを安全に楽しむために、既存のルールや用具をどのように工夫したら良いかを実技を通し理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	スポーツを実施後の振り返り		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	ボランティアについて考えをまとめていく。		
		各コマにおける授業予定	振り返り レポート作成		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期のまとめ		
		各コマにおける授業予定	振り返り レポート作成		

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	地域特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	牧原 新子	実務経験と その関連資格	介護教員 看護師 病院・介護福祉施設にて介護職員への指導看護師実務経験15年			
《授業科目における学習内容》						
対人援助職としてのコミュニケーション能力を向上させ、学外実習や就職時に役立てる。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート90% 出席・態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
障がい者スポーツ指導教本初級・中級 公財日本障がいスポーツ協会						
《授業外における学習方法》						
自分の地域で活動しているボランティアに関心を持つ						
《履修に当たっての留意点》						
前期:障害とスポーツを学ぶ 後期;地域にある施設でのボランティア活動						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	地域のボランティア活動を知ることができるようになる①			
		各コマに おける 授業予定	地域のボランティア活動について			
第 17 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	地域の活動を知ることができる。			
		各コマに おける 授業予定	地域活動、学校の取り組み			
第 18 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	癒しとボランティア 癒し方を身につけることができる。			
		各コマに おける 授業予定	ボランティアについて 癒しについて			
第 19 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	介護現場での必要性を理解することができる。			
		各コマに おける 授業予定	レクリエーションについて			
第 20 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	企画することができる。			
		各コマに おける 授業予定	レクリエーションについて			
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	

第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設ボランティア体験		
		各コマにおける授業予定	施設ボランティア		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設ボランティア体験		
		各コマにおける授業予定	施設ボランティアについて		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設ボランティア体験の振り返りをする。		
		各コマにおける授業予定	振り返り レポート作成		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	癒し体験ができる。		
		各コマにおける授業予定	癒しのハンド		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設ボランティア体験について		
		各コマにおける授業予定	施設ボランティア		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設ボランティア体験		
		各コマにおける授業予定	施設ボランティア		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設ボランティア体験		
		各コマにおける授業予定	施設ボランティア		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域活動に参加してコミュニケーションを行い、対人援助能力の向上ができるようになる		
		各コマにおける授業予定	地域活動⑩		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	ボランティアについて考えをまとめていく。		
		各コマにおける授業予定	振り返り レポート作成		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	前期のまとめ		
		各コマにおける授業予定	活動報告		